

# 令和4年における労働災害発生状況

確定値

北海道労働局労働基準部安全課

# 業種別労働災害発生状況 その1

令和4年1月1日～令和4年12月31日(確定)

北海道労働局

業種別	令和4年			令和3年			対前年		業種割合 (%)	令和3年確定		
	死亡	休業	合計	死亡	休業	合計	増減数	増減率		死亡	休業	合計
全産業合計	53	16,419	16,472	59	8,088	8,147	8,325	102.2	100.0	59	8,088	8,147
製造業	5	1,343	1,348	3	1,214	1,217	131	10.8	8.2	3	1,214	1,217
食料品	1	730	731		654	654	77	11.8	4.4		654	654
木材・家具		101	101	1	111	112	-11	-9.8	0.6	1	111	112
紙・印刷		36	36		19	19	17	89.5	0.2		19	19
窯業・土石		66	66	1	48	49	17	34.7	0.4	1	48	49
金属・機械		191	191		172	172	19	11.0	1.2		172	172
その他	4	219	223	1	210	211	12	5.7	1.4	1	210	211
鉱業												
鉱山		3	3		2	2	1	50.0	0.0		2	2
土石採取業		19	19	1	23	24	-5	-20.8	0.1	1	23	24
建設業	23	995	1,018	20	939	959	59	6.2	6.2	20	939	959
土木工事業	13	390	403	11	348	359	44	12.3	2.4	11	348	359
建築工事業	5	398	403	6	377	383	20	5.2	2.4	6	377	383
木造建築業		113	113	1	118	119	-6	-5.0	0.7	1	118	119
その他	5	94	99	2	96	98	1	1.0	0.6	2	96	98
交通運輸事業	1	413	414	1	241	242	172	71.1	2.5	1	241	242
陸上貨物運送事業	5	864	869	8	856	864	5	0.6	5.3	8	856	864
道路貨物運送	5	810	815	8	795	803	12	1.5	4.9	8	795	803
陸上貨物取扱		54	54		61	61	-7	-11.5	0.3		61	61
港湾運送業		17	17		21	21	-4	-19.0	0.1		21	21
林業	1	80	81	1	73	74	7	9.5	0.5	1	73	74
水産業	2	133	135	3	127	130	5	3.8	0.8	3	127	130
商業	5	1,196	1,201	8	1,232	1,240	-39	-3.1	7.3	8	1,232	1,240
清掃・と畜業	1	481	482	2	398	400	82	20.5	2.9	2	398	400
上記以外の事業	10	10,875	10,885	12	2,962	2,974	7,911	266.0	66.1	12	2,962	2,974

## 第13次労働災害防止計画進捗状況

12月末同月比(確定)

	死亡災害			死傷災害		
	被災者数	増減数	増減率	被災者数	増減数	増減率
基準年(平成29年)	81			6,676		
5年目(令和4年)	53	-28	-34.6%	16,472	9,796	146.7%

**第13次労働災害防止計画の目標**  
 平成29年と比較して令和4年までに・・・  
 ・死亡者数を20%以上減少させる。  
 ・死傷者数を5%以上減少させる。

# 業種別労働災害発生状況 その2

令和4年1月1日～令和4年12月31日

北海道労働局

## 「上記以外の事業」の内訳

業種別	令和4年			令和3年			対前年		業種割合 (%)	令和3年確定		
	死亡	休業	合計	死亡	休業	合計	増減数	増減率		死亡	休業	合計
農業	1	117	118	3	112	115	3	2.6	0.7	3	112	115
畜産業	2	328	330	1	275	276	54	19.6	2.0	1	275	276
金融・広告業		50	50	1	46	47	3	6.4	0.3	1	46	47
映画・演劇業		7	7		5	5	2	40.0	0.0		5	5
通信業		185	185		156	156	29	18.6	1.1		156	156
教育・研究業	1	121	122	1	74	75	47	62.7	0.7	1	74	75
保健衛生業	1	9,302	9,303	1	1,557	1,558	7,745	497.1	56.5	1	1,557	1,558
接客娯楽業		387	387	3	382	385	2	0.5	2.3	3	382	385
その他の事業	5	378	383	2	355	357	26	7.3	2.3	2	355	357
合計	10	10,875	10,885	12	2,962	2,974	7,911	266.0	66.1	12	2,962	2,974

## 「第三次産業」の内訳

業種別	令和4年			令和3年			対前年		業種割合 (%)	令和3年確定		
	死亡	休業	合計	死亡	休業	合計	増減数	増減率		死亡	休業	合計
商業	5	1,196	1,201	8	1,232	1,240	-39	-3.1	7.3	8	1,232	1,240
うち 小売業	3	935	938	5	975	980	-41	-4.2	5.7	5	975	980
金融・広告業		50	50	1	46	47	3	6.4	0.3	1	46	47
映画・演劇業		7	7		5	5	2	40.0	0.0		5	5
通信業		185	185		156	156	29	18.6	1.1		156	156
教育・研究業	1	121	122	1	74	75	47	62.7	0.7	1	74	75
保健・衛生業	1	9,302	9,303	1	1,557	1,558	7,745	497.1	56.5	1	1,557	1,558
うち 社会福祉施設	1	3,827	3,828		994	994	2,834	285.1	23.2		994	994
うち 医療保健業		5,451	5,451	1	550	551	4,900	889.3	33.1	1	550	551
接客・娯楽業		387	387	3	382	385	2	0.5	2.3	3	382	385
うち 飲食店		197	197	1	185	186	11	5.9	1.2	1	185	186
うち 旅館業		89	89	1	102	103	-14	-13.6	0.5	1	102	103
うち ゴルフ場		40	40		46	46	-6	-13.0	0.2		46	46
清掃・と畜業	1	481	482	2	398	400	82	20.5	2.9	2	398	400
その他の事業	5	378	383	2	355	357	26	7.3	2.3	2	355	357
うち 警備業	3	73	76	1	84	85	-9	-10.6	0.5	1	84	85
合計	13	12,107	12,120	18	4,205	4,223	7,897	187.0	73.6	18	4,205	4,223

# 令和4年における死亡災害発生状況[確定]

令和4年1月1日～令和4年12月31日

北海道労働局

業種	令和4年		令和3年同期		対前年比較			
	死亡者数	構成比 (%)	死亡者数	構成比 (%)	全件数		交通事故を除く	
					増減数	増減率	増減数	増減率
全産業	53 ( 11 )	100.0	59 ( 7 )	100.0	-6	-10.2	-10	-19.2
製造業	5 ( )	9.4	3 ( )	5.1	2	66.7	2	66.7
鉱業	( )		1 ( )	1.7	-1	-100.0	-1	-100.0
建設業	23 ( 1 )	43.4	20 ( 1 )	33.9	3	15.0	3	15.8
交通運輸事業	1 ( )	1.9	1 ( )	1.7				
陸上貨物運送事業	5 ( 1 )	9.4	8 ( 2 )	13.6	-3	-37.5	-2	-33.3
港湾運送業	( )		( )			-		-
林業	1 ( )	1.9	1 ( )	1.7				
その他の事業	18 ( 9 )	34.0	25 ( 4 )	42.4	-7	-28.0	-12	-57.1

(注) 1. 本統計は死亡災害報告に基づき、上記期間について集計したものである。

2. 死亡者数欄の( )内は、交通事故による死亡者数で、内数である。

3. 本年・昨年ともに集計期間に把握した速報値である。

# 令和4年における死亡災害発生状況(その他の事業の内訳)

令和4年1月1日～令和4年12月31日

北海道労働局

業種	令和4年		令和3年同期		対前年比較			
	死亡者数	構成比 (%)	死亡者数	構成比 (%)	全件数		交通事故を除く	
					増減数	増減率	増減数	増減率
その他の事業	18 ( 9 )	100.0	25 ( 4 )	100.0	-7	-28.0	-12	-57.1
小売業	3 ( 2 )	16.7	5 ( 3 )	20.0	-2	-40.0	-1	-50.0
医療保健業	( )		1 ( 1 )	4.0	-1	-100.0		-
社会福祉施設	1 ( )	5.6	( )		1	-	1	-
清掃・と畜業(ビルメン テナンス業を除く)	1 ( )	5.6	1 ( )	4.0				
ビルメンテナンス業	( )		1 ( )	4.0	-1	-100.0	-1	-100.0
ゴルフ場の事業	( )		( )			-		-
警備業	3 ( 3 )	16.7	1 ( )	4.0	2	200.0	-1	-100.0
農業・畜産業	3 ( )	16.7	4 ( )	16.0	-1	-25.0	-1	-25.0
水産業	2 ( )	11.1	3 ( )	12.0	-1	-33.3	-1	-33.3
その他	5 ( 4 )	27.8	9 ( )	36.0	-4	-44.4	-8	-88.9

(注) 1. 本統計は死亡災害報告に基づき、上記期間について集計したものである。

2. 死亡者数欄の( )内は、交通事故による死亡者数で、内数である。

3. 本年・昨年ともに集計期間に把握した速報値である。

# 令和4年 死亡災害発生状況

## 令和4年1月1日～令和4年12月31日

北海道労働局

業種別	1号		2号		3号		4号		5号		6-2号		7-2号		その他業	合計														
	製造業	うち木材木製品製造業	鉱山保安法適用事業	土石採取業	建設業	道路貨物運送業	その他の運輸業	陸上貨物取扱業	港湾運送業	林業	水産業	その	他																	
年別																														
平成24年	8				27	10	1		1	4	4	28	83																	
平成25年	6			1	22	7	2		1	4	4	17	64																	
平成26年	4			1	22	6	2			4	6	20	65																	
平成27年	7			2	25	10	3	1	1	4		12	65																	
平成28年	7			1	30	13	1			5	2	18	77																	
平成29年	8			2	23	10	2			5	5	26	81																	
平成30年	11	1			17	11				6		18	63																	
令和元年	10				20	6	2			8	1	15	62																	
令和2年	6	1		1	14	4	3	2		4	3	14	51																	
区分月別	当月分	累計	当月分	累計	当月分	累計	当月分	累計	当月分	累計	当月分	累計	当月分	累計	当月分	累計	当月分	累計	当月分	累計	当月分	累計	当月分	累計						
年別																														
令和3年	1月								1	1														1	1					
	2月							1	1										1	1			1	1	3	4				
	3月							1	1	3	4								1	1			1	1	3	7				
	4月							2	3		4								1	1			1	1	2	9				
	5月							1	4		4								1	1	3	3	4	5	8	17				
	6月							3	7		4								1	1	3	3	3	8	6	23				
	7月	1	1					6	13		4								1	1	3	2	10	9	32					
	8月		1						13	2	6	1	1						1	1	3	2	12	5	37					
	9月		1					1	14		6		1						1	1	3	1	13	2	39					
	10月		1					2	16	1	7		1						1	1	3	3	16	6	45					
	11月	1	2	1	1			1	1	3	19		1						1	1	3	1	17	6	51					
	12月	1	3		1			1	1	1	20	1	8						1	1	3	5	22	8	59					
令和4年	1月	1	1						3	3	1	1													5	5				
	2月	1	2							3		1	1										1	1	3	8				
	3月		2						1	4	1	2											1	2	3	11				
	4月	1	3						1	5		2											1	3	3	14				
	5月		3						1	6	2	4											1	4	4	18				
	6月		3						1	7		4											2	6	3	21				
	7月	1	4						1	8		4											1	7	3	24				
	8月	1	5						3	11		4												7	4	28				
	9月		5						3	14	1	5											1	8	5	33				
	10月		5						3	17		5											4	12	7	40				
	11月		5						2	19		5									1	1	2	14	5	45				
	12月		5						4	23		5							1	1	1	2	2	16	8	53				
対前年同月比	件数	±0	2	±0	±0	±0	±0	±0	±0	1	3	-2	-2	±0	1	±0	±0	±0	±0	±0	±0	±0	±0	-1	±0	±0	1	1	±0	4
	百分率	±0	-	±0	±0	±0	±0	±0	±0	-	300.0	-66.7	-50.0	±0	-	±0	±0	±0	±0	±0	±0	±0	±0	-100.0	±0	±0	-	100.0	±0	57.1

# 令和4年 業種別・事故の型別・起因物別死亡災害発生状況

令和4年1月1日～令和4年12月31日

北海道労働局

事故の型番号	業種番号 業種	業種										起因物番号																								
		1 製	2 鉱	3 土	4 建	5 道	6-2 陸	7-2 港	8 林	9 水	10 そ	11 起 因 物	12 原 動 機	13 木 材 加 工 機 械	14 建 設 用 機 械	15 金 属 加 工 用 機 械	16 一 般 動 力 機 械	17 車 両 系 木 材 伐 出 機 械 等	21 動 カ ク レ ー ン 等	22 動 カ 力 運 搬 機 物	23 乗 力 器 器	31 圧 力 容 器	32 化 学 容 器	33 溶 接 装 置	34 炉 ・ 窯 等	35 電 気 設 備	36 人 力 機 械 工 具 等	37 用 具	39 そ の 他 の 装 置 設 備	41 仮 設 物 ・ 建 築 物 ・ 構 築 物 等	51 危 険 物 ・ 有 害 物 等	52 材 料	61 荷 等	71 自 然 環 境 等	91 そ の 他 の 起 因 物	92 起 因 物 な し
1	墜落、転落				10	1										1	1			2								1	1	6				2		
2	転倒																																			
3	激突																																			
4	飛来、落下				1						1	1															1	1		1						
5	崩壊、倒壊	1			3						1																			1		1	3			
6	激突され																																			
7	はさまれ、巻き込まれ	3			5	2						1		2					2	7																
8	切れ、こすれ																																			
9	踏抜き																																			
10	おぼれ																																			
11	高温、低温の物との接触				1																													1		
12	有害物等との接触				2																								2							
13	感電																																			
14	爆発																																			
15	破裂																																			
16	火災																																			
17	交通事故(道路)				1	1															3	6												2		
18	交通事故(その他)																					1														
19	動作の反動・無理な動作																																			
90	その他	1			1	1						1																							2	2
99	分類不能																																			
	合計	5			23	5	1				1	2	16			2	1	1	2	11	9						1	2	3	8			1	8	2	2

# 令和4年 署別・業種別死亡災害発生状況

令和4年1月1日～令和4年12月31日

北海道労働局

業種別	1号		2号		3号	4号		5号		6-2号	7-2号	その他 の事業	合計
	製造業	うち木材木 製品製造業	鉱山保安法 適用事業	土石採取業	建設業	道路貨物 運送業	その他の 運輸業	陸上貨物 取扱業	港湾運送業	林業	水産業		
署別													
札幌中央	1				2	1						3	7
札幌東					2		1					1	4
函館					5						2	1	8
小樽					1								1
岩見沢					1								1
旭川												2	2
帯広					1							5	6
滝川	1				2								3
北見					1								1
室蘭					2	1							3
釧路	1				1	2						2	6
名寄					2							1	3
留萌													
稚内													
浦河					1					1			2
苫小牧	2				1	1						1	5
倶知安					1								1
計	5				23	5	1			1	2	16	53



# 令和4年 署別・業種別死傷災害発生状況

令和4年1月1日～令和4年12月31日

北海道労働局

業種別 署別	全産業合計	製 造 業							鉱 業		建 設 業				交 陸上貨物運送事業			港 湾 運 送 業	林 業	水 産 業	商 業		社 会 福 祉 施 設	飲 食 店	清 掃 ・ と 蓄 業	左 記 以 外 の 事 業	対 前 年 比 増 減 率				
		計	食 料 品 製 造 業	木 材 ・ 家 具	紙 ・ 印 刷	窯 業 土 石 製 品	金 属 ・ 機 械	そ の 他 製 造 業	鉱 山	土 石 採 取 業	計	土 木 工 事 業	建 築 工 事 業	木 造 建 築 業	そ の 他 建 設 業	交 通 運 輸 事 業	計				道 路 貨 物 運 送 業	陸 上 貨 物 取 扱 業						計	小 売 業	そ の 他 商 業	
札幌中央	1,579	115	50	6	5	4	27	23		2	121	30	63	11	17	66	137	119	18	2		1	264	201	63	277	57	110	427	120.6%	
	3,484	100	34	6	7	5	25	23		2	126	26	70	13	17	107	135	128	7		1	223	161	62	817	60	113	1,800			
札幌東	1,675	211	135	5	4	1	32	34			172	52	87	18	15	73	258	231	27				332	253	79	218	36	93	282	99.3%	
	3,339	227	123	10	8	2	45	39			194	55	104	15	20	124	257	221	36	1	1	336	240	96	716	48	106	1,329			
函館	629	141	104	8	1	4	13	11		1	95	52	28	7	8	13	44	44				14	15	91	70	21	88	14	28	85	194.4%
	1,852	138	99	5	2	8	14	10			86	53	23	4	6	17	56	56				12	18	99	89	10	319	16	54	1,037	
小樽	332	82	46	5		1	6	24		1	31	10	16	2	3	8	27	22	5	3	1	4	33	26	7	22	3	14	103	159.0%	
	860	109	64	1	2		6	36		1	45	35	8	1	1	25	18	18		2	2	2	34	28	6	343	2	9	268		
岩見沢	225	56	19	3	1	12	4	17		1	33	18	7	6	2	9	32	29	3				32	30	2	16	5	8	33	51.1%	
	340	44	23	1	3	3	9	5			40	25	6	7	2	12	26	25	1			1	37	32	5	95	4	12	69		
旭川	606	95	35	28	2	2	17	11		2	78	20	42	5	11	19	66	65	1			9	80	67	13	81	15	43	118	76.1%	
	1,067	86	34	18	1	4	16	13		3	77	23	37	9	8	65	66	66				9	93	76	17	347	16	28	277		
帯広	656	107	72	10	1	3	13	8		7	80	29	28	15	8	4	61	60	1	2	22	5	73	59	14	95	11	21	168	55.5%	
	1,020	102	73	6	2	3	7	11		3	55	17	18	13	7	5	60	60			15	3	65	54	11	209	10	58	435		
滝川	159	28	2	5		3	8	10		1	24	13	9		2	4	13	13				2	31	27	4	16		10	30	169.8%	
	429	40	9	6		4	11	10	1		65	47	14	3	1	6	20	20				1	24	21	3	152	3	7	110		
北見	360	73	45	13		2	6	7		1	52	25	12	11	4	7	34	33	1			4	20	51	40	11	25	5	15	73	75.6%
	632	85	56	11		6	6	6		2	47	25	9	10	3	6	24	23	1			10	20	41	32	9	142	2	13	240	
室蘭	219	37	8			2	15	12			29	7	16	3	3	4	17	17		2	2	1	37	31	6	20	2	5	63	195.4%	
	647	85	63			2	16	4			33	6	18	5	4	5	17	16	1	2		2	44	41	3	181	4	23	251		
釧路	455	83	41	5		2	17	18	1	4	57	15	22	10	10	23	46	45	1	8	4	24	78	64	14	34	11	16	66	58.2%	
	720	82	53	5		1	4	19	2	2	75	27	34	9	5	22	69	66	3	3	11	39	65	57	8	138	12	17	183		
名寄	172	45	28	10		2	5	1		1	28	20	2	5	1	1	17	17				4	15	23	22	1	10		1	27	-9.3%
	156	35	13	9	1	3	1	8		3	16	8	5	1	2	7	8	8				7	14	11	8	3	19	1	4	31	
留萌	65	12	9				1	2			10	5	2	1	2	1	4	4				2	6	6	6		10		2	12	123.1%
	145	26	10	1			1	14			11	8	2	1		2	6	6		1	2	4	10	9	1	44		3	36		
稚内	131	15	13					2		2	24	10	8	2	4	2	5	5				4	27	19	13	6	2		4	27	96.2%
	257	33	26	1		5	1				30	13	6	7	4	1	9	8	1			2	27	15	11	4	31		4	105	
浦河	180	4	2			1		1			21	9	3	8	1		5	5				1	6	4	4		5	3		131	22.2%
	220	12	6	2			1	3		1	10	4	2	3	1		4	4				2	3	8	6	2	24		4	152	
苫小牧	583	96	32	13	5	8	13	25		2	78	32	31	9	6	7	92	88	4	4	5	2	76	59	17	58	21	25	117	90.4%	
	1,110	126	34	17	9	18	28	20		2	72	15	32	10	15	8	91	87	4	8	5	2	82	66	16	187	17	20	490		
倶知安	121	17	13	1		2		1			26	12	7	6	1	1	6	6				2	10	8	2	17	3	5	32	60.3%	
	194	18	11	2	1	2		2			36	16	15	2	3	2	3	3				1	14	7	7	64	2	7	47		
合計	8,147	1,217	654	112	19	49	172	211	2	24	959	359	383	119	98	242	864	803	61	21	74	130	1,240	980	260	994	186	400	1,794	102.2%	
	16,472	1,348	731	101	36	66	191	223	3	19	1,018	403	403	113	99	414	869	815	54	17	81	135	1,201	938	263	3,828	197	482	6,860		
対前年比増減率	102.2%	10.8%	11.8%	-9.8%	89.5%	34.7%	11.0%	5.7%	50.0%	-20.8%	6.2%	12.3%	5.2%	-5.0%	1.0%	71.1%	0.6%	1.5%	-11.5%	-19.0%	9.5%	3.8%	-3.1%	-4.3%	1.2%	285.1%	5.9%	20.5%	282.4%		

(注) 本統計は死傷病報告による死傷件数である。上段は前年、下段は当年である。

令和4年 業種別・事故の型別・起因物別死傷災害発生状況

令和4年1月1日～令和4年12月31日

北海道労働局

事故の型番号	業種番号											起因物番号											北海道労働局															
	業種	1 製造業	2 鉱業	3 土石採取業	4 建設業	5 道路貨物運送業	6 陸上貨物取扱業	6-2 港湾運送業	7-2 林業	7-2 水産業	その他	11 原因物	12 動力機械	13 木材加工機	14 建設用機械	15 金属加工用機械	16 一般動力機械	17 車両系木材伐出機械等	21 動力クレーン等	22 動力運搬機	23 乗物	31 圧力容器	32 化学装置	33 溶接装置	34 炉・窯等	35 電気設備	36 人力機械工具等	37 用具	39 その他	41 仮設物・建築物・構築物等	51 危険物・有害物等	52 材料	61 荷	71 自然環境等	91 その他	92 起因物	99 分類不能	
1 墜落・転落	136		2	312	226	10	6	2	6	11	466	1177		1	24		8	4	11	267	20		1				6	305	19	416		13	16	62	1	3		
2 転倒	312	1	4	138	170	134	15	1	8	26	1,472	2281		6		8		1	47	43						5	52	127	36	987		31	32	818	10	78		
3 激突	51		3	26	39	7			3	8	165	302		5	7	1			45	20						24	51	23	81		9	8	22	1	5			
4 飛来・落下	74		2	72	47		1		15	8	86	305		2	13	5	17		10	15	2	1				1	19	50	12	6	1	75	51	20	4	1		
5 崩壊・倒壊	19			25	17	1	1		4	3	26	96		1	1					5	1	2					10	13	1	15		16	18	13				
6 激突され	40		2	44	40	3	3	3	17	13	200	365		3	11	2	14	4	10	38	14					1	35	29	6	9		17	15	145	7	5		
7 はさまれ・巻き込まれ	244	1	3	104	87	10	7	5	7	41	260	769	2	14	16	27	35	133	2	32	145	43	1		1	1	72	51	27	39		44	34	47		3		
8 切れ・こすれ	102		1	81	6				9	5	161	365		64		23	67		1	2	1						134	15	9	7		33	2	6	1			
9 踏抜き	3			3	1						3	10															1		4		5							
10 おぼれ											3	3																						1	2			
11 高温・低温の物との接触	38			9	4	1					53	105		1			8				1					3	7	1	3	15	12	1	5	7	5	33	1	2
12 有害物等との接触	5			3	1				1		14	24		1						1									2		16			3		1		
13 感電	1			1								2														2												
14 爆発	1										1	2												1					1									
15 破裂					2						2	4								1								1	2									
16 火災	1			2							1	4		1															1	2								
17 交通事故(道路)	15			32	43	52			2	1	158	303			3		1			48	232						3		1	1					12	1	1	
18 交通事故(その他)										1	1	2									2																	
19 動作の反動・無理な動作	107		2	51	117	33	17	4	9	16	658	1014			4		3		4	36	28	1				1	27	34	12	151		23	145	67	39	439		
90 その他	197	1		115	15	163	4	2		2	8,836	9335														1			3					14	9,306	11		
99 分類不能	2										2	4																								1	1	2
合計	1348	3	19	1018	815	414	54	17	81	135	12568	16472	2	14	89	95	65	266	11	69	650	407	5	1	4	8	13	385	692	164	1720	24	273	326	1263	9374	550	2

# 令和4年 製造業における死亡災害

発生年	発生月	時刻	業種	規模	事故の型	起因物	災害の状況
4	1	13時台	その他の製造業	30人以上 49人	はさまれ・巻き込まれ	動力運搬機 221	事業場敷地内において、けん引車両とトレーラーを連結するために、けん引車両を後進させたが積雪により連結できなかったため、被災者がトレーラーの連結部付近で除雪作業を行っていたところ、けん引車両が後進して同車とトレーラーに挟まれたもの。
4	4	17時台	その他の製造業	10人未満	はさまれ・巻き込まれ	動力運搬機 221	被災者は、トラック(最大積載量19.9t)の左側面にある路肩灯の不具合の修理作業をしていたところ、別の労働者が被災者がいること気づかず、当該トラックを発進させたため、トラックの下で作業していた被災者が轢かれたもの。
4	7	14時台	その他の製造業	100人以上 299人	はさまれ・巻き込まれ	動力クレーン等 214	被災者はエレベーターの点検作業を同僚と2名で行っていたが、エレベーターの搬器外側についている電球交換を行うため、脚立でピット内へ降り、搬器内にいた同僚に指示して搬器を電球交換できる高さに停止させ、当該電球を点灯させるため、手動運転から自動運転に切り替えたところ、開けていた搬器のドアが閉まって搬器が降下し、エレベーターと壁の間に挟まれたもの。
4	8	13時台	食料品製造業	100人以上 299人	崩壊・倒壊	荷 611	被災者は、工場の冷凍庫内に保管してある商品を取るため、同庫内に立ち入ったところ、約3.6mの高さまでパレット3段積みで重ねられていた袋物の荷が崩れてきて、その下敷きとなったもの。冷凍庫内では、同僚の労働者がフォークリフトを用いパレット上に積まれた袋物の荷の運搬を行っていた。

# 令和4年 建設業における死亡災害

発生年	発生日	時刻	業種	規模	事故の型	起因物	災害の状況
4	1	7時台	その他の建設業	10人未満	はさまれ、巻き込まれ	建設用等機械 1 4 2	ダンプトラックのあおりに鉄製の仮付けした側板をドラグ・ショベルのバケットで押す作業を複数回行っていったところ、荷台上の鳥居の位置にいた被災者にバケットが接触し、そのまま押されて、被災者がバケットと鳥居の間に挟まれ被災したものの。
4	1	14時台	その他の建設業	10人未満	交通事故（道路）	乗物 2 3 1	被災者は事業場から、客先へ機械のメンテナンス等のため、事業場所有のワゴン車を運転し、走行中に、何らかの原因により運転していたワゴン車が横転したものの。事故当時、路面は一部がシャーベット状であった。
4	1	13時台	建築工事業	30人以上49人	崩壊、倒壊	物 仮設物、構築物、建築物等 4 1 9	改築工事現場において、冬期養生上屋の仮設屋根（縦約45m、横約70m、高さ約5m）の一部が崩落し、現場内で作業を行っていた作業員約20名のうち、崩落箇所のあるところで作業を行っていた被災者が下敷きとなったもの。
4	3	15時台	土木工事業	10人未満	墜落、転落	物 仮設物、構築物、建築物等 4 1 8	被災者は、ダム取水放流設備内に設けられた点検歩廊で設備の最終確認の点検中、設備内に設けられた昇降はしごの昇降口の開口部に設置されたチェーンを潜り抜けようとしたところ、誤って15.7m下のコンクリート製の構造部に墜落したものの。
4	4	21時台	土木工事業	50人以上99人	はさまれ、巻き込まれ	動力 運搬機 2 2 1	トンネル工事において、ずり出し作業を行うため作業の邪魔にならないよう、坑内の斜路に停車していた車両積載形トラッククレーンを後退させていたところ、後方を通行していた被災者を轢いたもの。
4	5	8時台	建築工事業	10人未満	墜落、転落	物 仮設物、構築物、建築物等 4 1 8	共同住宅の屋上防水補修工事のため、被災者ら3名で屋上へ上がった後、被災者以外の2名が作業準備をしていたところ、現場の確認作業中の被災者が屋上から約30m下のアスファルトの地面へ墜落したものの。
4	7	11時台	土木工事業	10人以上29人	高温・低温の物の接触	環 境 等 7 1 5	被災者は同僚と畑の岩石を手で拾い集め、トラクター・ショベルのバケットに投げ入れる作業に従事していたが、小休憩の際に、被災者がよろける等して体調の悪化が見られたことから、車内でエアコンを付け、冷却材を当てて被災者の体を冷やしたものの、痙攣したため、救急車で病院に搬送されたが、その後、死亡したものの。
4	8	9時台	土木工事業	10人未満	墜落、転落	環 境 等 7 1 1	被災者は、ダムの放水路付近の法面で、刈払機を用いて法面上方を向いて草刈り作業に従事していたものであるが、法面下部から水面まで約3m、水深約2mの放水路に沈んでいるのを発見されたもの。

# 令和4年 建設業における死亡災害

発生年	発生月	時刻	業種	規模	事故の型	起因物	災害の状況
4	8	9時台	その他の建設業	10人未満	墜落・転落	その他の装置・設備	被災者は、苫東厚真発電所内の石炭灰貯蔵サイロの灰出し作業中、当該サイロ内のホッパー上に堆積した灰(約3m程度)の上に乗し、バキュームホースを用いて当該灰を吸い出していたところ、堆積灰の中に埋没したものの。
4	8	15時台	建築工事業	10人未満	飛来・落下	物・仮設物・構築物・建築物等	被災者は木造アパート解体工事において、電動チェーンソーを使用し梁を切断する作業を行っていたが、床にうつぶせの状態で見失われた。倒れていた被災者のそばにT字状の梁が落下していた。
4	6	13時台	建築工事業	10人未満	墜落・転落	物・仮設物・構築物・建築物等	被災者は、冷凍倉庫屋根の改修工事現場において、何らかの原因により、屋根の端部から地上まで、足場に引っかかりながら約7m墜落したものの。
4	9	14時台	土木工事業	10人未満	墜落・転落	環境等	林道に面した法面の改良工事現場において、法面上で2名がエアピックによる岩切り、被災者が補助(エアホース持ち)をしていたが、岩切作業が終わり2名は山側に撤収し、被災者が法面上でエアホースの回収を始めたところ、法尻に転落したものの。
4	9	22時台	土木工事業	10人以上29人	墜落・転落	物・仮設物・構築物・建築物等	円筒形のトンネル掘削到達立坑(直径14m、深さ35.5m)に設置した吊り下げ式の昇降階段の最下段において、そこから立坑床面へ降りるための梯子の盛り替え作業中、昇降設備最下段の開口部(幅0.6m、奥行1.75m)から6.6m下の立坑床面まで墜落したものの。
4	9	22時台	建築工事業	10人未満	墜落・転落	用具	店舗入口風除室の撤去工事において、被災者が脚立を使用し、サッシのガラス板の取外し作業を行っていた。脚立の片側の踏みさん(地面から高さ1.4m)に両足を乗せて立ち、ガラスを取り外した後、天板(地面から高さ1.7m)に腰かけた際にバランスを崩し、脚立が倒れるとともに地面に墜落したものの。
4	10	9時台	土木工事業	10人未満	崩壊・倒壊	環境等	浄水場の排水管を布設する工事において、地面をドラグ・ショベルで溝状に深さ2mほど掘削した後、露出した既設の水道管の下に排水管を通すため、溝内で被災者がさらに人力で掘り下げていたところ、側壁が崩壊し、胸の辺りまで埋まったものの。 側壁の勾配は、ほぼ垂直であり、土止め支保工は設置されていなかった。
4	10	11時台	その他の建設業	10人以上29人	有害物等との接触	その他の装置・設備	製鉄工場構内にて、設備の修繕のため、部品の取替え作業を請け負い、同作業のため、手持ち式金属切断機を用いてボルトを切断していたところ、切断したボルト1本を混炭機内に落としてしまったことから、ボルトの回収のため、被災者のうち1名が同機内に入ったところ倒れ、当該被災者を救出のため近づいた職長も同機内で倒れ、被災したものの。

# 令和4年 建設業における死亡災害

発生年	発生日	時刻	業種	規模	事故の型	起因物	災害の状況
4	10	11時台	その他の建設業	10人以上29人	有害物等との接触	その他の装置・設備	同上
4	11	13時台	土木工事業	10人未満	崩壊、倒壊	環7境1等1	被災者は用水路工事において、塩ビ管(径30cm)を敷設するため、ドラグ・ショベルにより下幅60cm、深さ約2.5mの溝状に掘削を行った箇所に入って、砂を敷き均す作業を行っていたところ、掘削箇所の片側の側壁が崩壊し、被災者の首の近くまで土砂に埋まったもの。掘削箇所の側壁の勾配はほぼ垂直であり、土止め支保工等は設置されていなかった。
4	11	14時台	土木工事業	10人未満	はさまれ・巻き込まれ	動力クレーン等	被災者はクレーン付き車両運搬車の荷台に設置されたウインチのワイヤーロープの交換作業を行うにあたり、積載型トラッククレーンのアウトリガーを使用して車体を持ち上げ、車体の下に入り込み作業していたところ、回転していたPTO(エンジンからクレーンの動力を取り出す装置)のドライブシャフトに、被災者の着用していた衣服が巻き込まれたもの。
4	12	9時台	土木工事業	10人未満	はさまれ・巻き込まれ	動力運搬機	被災者は雪捨て場において、ダンプカー(最大積載量2t)で排雪作業を行っていたが、ダンプカーが雪にはまって動かなくなったため、別のダンプカー(同4t)で牽引することとした。その準備作業のため、両ダンプカーの間に立ち入り、後進するダンプカーを誘導していたところ、スタックしていたダンプカーと後進するダンプカー間挟まれたもの。
4	12	10時台	土木工事業	50人以上99人	はさまれ・巻き込まれ	建設用等機械	被災者はトンネル坑内の器材坑と呼ばれる箇所の一次吹付作業をエレクトラー一体型吹付機を用いてリモコンにより、単独で操作していたところ、当該吹付機のアームが右側面側に動いたことによりアームと器材坑に設置されていた鋼製支保工との間に体等を挟まれたもの。
4	12	10時台	土木工事業	10人未満	墜落・転落	物、仮設物、構築物、建築物等	被災者は委託を受けた施設の屋根の雪下ろし作業で、屋根上に上がり雪庇を落としていたところ、足元の雪が屋根を滑り出し、雪とともに地上に墜落し、雪に埋まったもの。
4	12	10時台	土木工事業	10人未満	墜落・転落	物、仮設物、構築物、建築物等	同上

# 令和4年 陸上貨物運送事業における死亡災害

発生年	発生月	時刻	業種	規模	事故の型	起因物	災害の状況
4	1	17時台	道路貨物運送業	10人未満	はさまれ・巻き込まれ	動力運搬機 2 2 2 1	被災者は、事業場の敷地内において、9tダンプトラックの荷台を上げて、ダンプトラックに付属した荷台の降下を防止するためのストッパーを使用せずに車体と荷台の間に入り、荷台昇降用油圧ホースの付属部品を交換する作業をしていたところ、荷台が降下して挟まれたもの。
4	3	16時台	道路貨物運送業	10人以上29人	転倒	車両系木材伐出機 1 7 1 1	被災者は、林業伐採現場にて、車両系木材伐出機の運転業務中、現場内の集材道(坂道)の路肩から転落し、運転席から投げ出され当該機械の下敷きとなったもの。
4	5	13時台	道路貨物運送業	10人以上29人	交通事故(道路)	動力運搬機 2 2 2 1	被災者は、10tダンプトラックで肥料(甜菜製糖工場から出るライムケーキ)を積んだ後、国道274号線を走行していたところ、何らかの原因により当該車両が横転して路外に逸脱し、被災者は運転席から投げ出され、車両の下敷きになったもの。
4	5	8時台	道路貨物運送業	10人以上29人	はさまれ・巻き込まれ	コンベア 2 2 2 4	被災者は、碎石を運ぶダンプトラックの運転手だが、配送先にて碎石の貯蔵サイロの空き状況を確認するため当該サイロ上部に上がり、当該サイロに碎石を運ぶコンベアの覆いに設けられた扉を開け、内部を覗き込んだときに、扉とコンベア上を動くトリッパーの間に挟まれたもの。

# 令和4年 林業における死亡災害

発生年	発生月	時刻	業種	規模	事故の型	起因物	災害の状況
4	12	10時台	林業	10人未満	崩壊・倒壊	環7 境1 等2	被災者は、間伐作業現場において、チェーンソーによる伐木作業中、かかり木となった伐倒木の付近で別の立木を伐倒していたところ、当該かかり木が被災者に倒れ掛かり、木の下敷きになっているところを発見されたもの。



# 令和4年 その他の業種における死亡災害

発生年	発生月	時刻	業種	規模	事故の型	起因物	災害の状況
4	2	1時台	小売業	10人以上 29人	交通事故（道路）	乗物 2 3 1	被災者は、オートバイに乗り新聞配達業務に従事していたが、交差点で血を流して倒れているところを発見されたもの。
4	3	6時台	小売業	300人以上	墜落・転落	乗物 2 3 1	被災者は出勤時、事業場敷地内の駐車場に自家用車を駐車するため、運転席のドアを開けて後方を確認しながら後退していたところ、急加速し、その反動で車外へ投げ出されて頭部を強打したもの。
4	4	16時台	教育・研究業	100人以上 299人	飛来・落下	人力機械 3 6 1 工具等	敷地内車庫にて、フォークリフトのエンジンオイル交換作業のためジャッキアップを行っていた被災者の同僚が、被災者に、ジャッキの高さを確認するよう求め、被災者がフォークリフトの下に潜り込んだところ、ジャッキが外れてフォークリフトが落下し、被災者の頭部がフォークリフトと地面の間に挟まれたもの。
4	5	8時台	農業	10人以上 29人	墜落・転落	一般動力機械 1 6 9	被災者は、田植え作業を行うため、田植え機（農業機械）を運転していたが、農道から水田に続く下り坂（勾配約16度）を進んでいた際、ブレーキ操作をしたところ機体が前傾したため、被災者は前方に投げ出され、無人となった当該田植え機に轢かれたもの。
4	6	6時台	清掃・と畜業	30人以上 49人	はさまれ まれ 巻き込	動力運搬機 2 2 1	被災者は単独でダンプトラック（最大積載量6.3t）の作業開始前点検を行っていたが、ダンプトラックの後方にあった壁にもたれかかった状態で発見されたもの。現場は壁に向かって下り勾配であり、ダンプトラックが壁に接近して止まっていたことから、被災者が運転席を離れていたときに当該トラックが後進し、何らかの理由により被災者が壁とトラックの荷台に挟まれたものと推定される。
4	7	4時台	小売業	30人以上 49人	交通事故（道路）	乗物 2 3 1	被災者は、新聞配達を終えて事務所へ戻るために軽乗用車を運転していたところ、片側1車線の直線道路で路外に逸脱して街路樹に衝突したもの。
4	9	10時台	畜産業	10人未満	転倒	動力運搬機 2 2 1	傾斜のある牧草地にて、10tトラックを用いて被災者が糞尿散布作業をしていたところ、一度糞尿を散布した箇所にトラックで進入し、方向を変えようと傾斜が緩い箇所でハンドルを切った際にトラックが横転し、頭部を強打したもの。

# 令和4年 その他の業種における死亡災害

発生年	発生月	時刻	業種	規模	事故の型	起因物	災害の状況
4	10	16時台	その他の事業	100人以上 299人	交通事故（道路）	環境等 7 1 9	被災者は国道を走行中、ワゴン車が路上に飛び出した鹿と衝突、そのはずみで反対車線にはみだし、対向走行してきたトラックと正面衝突したものの。
4	10	16時台	その他の事業	100人以上 299人	交通事故（道路）	環境等 7 1 9	同上
4	10	15時台	畜産業	10人未満	墜落・転落	乗物 2 3 1	被災者は野鳥を狩猟するため自動車で移動していたところ、林道で左後輪が脱輪したため、自動車に取り付けられているウインチのロープを木にかけ、脱輪を戻そうとしたが、車が滑ってロープが切れ、林道から高さ50m下へ転落したものの。
4	11	17時台	その他の事業	10人未満	交通事故（道路）	乗物 2 3 1	被災者はトラクターショベルを当該事業場の車両置場に移送させた後、翌日の作業準備のため、車両置場から資材置場の詰所へ徒歩で町道を移動していたところ、後方から来た一般乗用車にはねられたもの。
4	11	8時台	水産業	10人未満	飛来・落下	用具 3 7 2	被災者は川に仕掛けていたさけ捕獲用の網をジブクレーン（つり上げ荷重2.9t）で吊り上げ、旋回し、河川敷にある木枠の中にいれる作業を行っていた。網を手で手繰り木枠に誘導するため、網に近づいたところ、網内に残っていた石（直径30cm、重さ20kg程度）が落下し、被災者の頭頂部に当たったもの。
4	11	13時台	小売業	10人未満	交通事故（道路）	動力運搬機 2 2 1	被災者は、本社での出張業務を終え、社有車（普通乗用車）を運転し国道を走行中、トンネル内で対向車線を走行してきた11tトラックがセンターラインをはみ出し、正面衝突したものの。
4	12	15時台	その他の事業	10人未満	交通事故（道路）	乗物 2 3 1	被災者は、畑での作業を終え、社有車を運転し、苫小牧市内の事業場へ向けて道路上を走行していたところ、凍結路面でスリップして対向車線にはみ出し、同車線を走行してきた大型トラックと衝突したものの。
4	12	0時台	水産業	10人未満	交通事故（その他）	乗物 2 3 9	被災者は漁船（9.7t）で、スケトウダラ刺し網漁を行っていたが、漁が終わり、帰港中、右舷側から波をかぶって転覆し、海中に投げ出され溺死したものの。

## 令和4年 その他の業種における死亡災害

発生年	発生月	時刻	業種	規模	事故の型 (道路事故)	起因物	災害の状況
4	6	10時台	その他の事業	10人以上 29人	(道路事故)	動力運搬機 2 2 1	国道上において、被災者が一般車両の交通誘導を行っていたところ、トラックの運転手が居眠りをしていたため、被災者の停止合図に気づかず、危険を感じた被災者が道路脇に逃げようとしたが轢かれたもの。 事故発生日から数日後に、呼吸不全により死亡したもの。
4	10	13時台	卸売業	10人未満	(道路事故)	乗物 2 3 1	被災者は、一般道を乗用車で走行中、反対車線にはみ出し、建築物に衝突したもの。

## 死亡労働災害の概要(令和5年3月把握分)

発生年	発生月	時刻	業種	規模	事故の型 (道路事故)	起因物	災害の状況
4	6	10時台	その他の事業	10人以上 29人	(道路事故)	動力運搬機	国道上において、被災者が一般車両の交通誘導を行っていたところ、トラックの運転手が居眠りをしていたため、被災者の停止合図に気づかず、危険を感じた被災者が道路脇に逃げようとしたが轢かれたもの。 事故発生日から数日後に、呼吸不全により死亡したもの。
4	10	13時台	卸売業	10人未満	(道路事故)	乗物	被災者は、一般道を乗用車で走行中、反対車線にはみ出し、建築物に衝突したものの。